

活動名	イングリッシュウォークラリー			
概要 (セールスポイント)	イングリッシュウォークラリーは、リーダーによる英語の指示を理解しながら施設内を周回する活動です。ポイントに問題を設定することもできます。 自然を感じながら、各グループで協力しながら活動します。			
諸条件	場 所	交流の家施設内	対 象	小学生以上
	所要時間	90分～120分	人 数	1グループ6人程度
	時 期	通年	天 候	小雨可（荒天時不は相談）
活動の 教育的効果	(1) グループの代表（指示をする人）がコマ図を見て、仲間に英語で道案内をすることで、英語での道案内を理解することができる。 (2) グループで指示された意味を理解しながら、所内を歩くことで、道案内をする英語のキーワードに慣れ親しみながら、コミュニケーション力をつけることが期待できる。			
準備する物	青少年交流の家が貸し出す物		団体（個人）が準備する物	
	□グループ：コマ図、クリップボード		□個人：帽子、水筒、必要に応じて雨具 タオル等 □団体：救急バッグ、グループ名簿、 緊急連絡簿等	
活動内容 (手順)	所要時間	項目	内容	備考
	事前	グループ編成とミーティング	□事前にグループ編成を行う。 □指示をする人、指示をする順番等を決める。	コマ図準備のため、事前にグループ数を報告してください。
	15分	活動方法の説明と安全指導	□軽くウォーミングアップを行う。 □コマ図を各グループに配る。 □活動の方法を説明する。 □安全に関する注意を行う。	
	60～90分	活動	□一斉、または時間差をつけて出発 □指示者は英語でグループに道案内をする。 □指示者を交代して道案内をする。	□出発前にトイレを済ませる。
	15分	集合・片付け	□メンバー全員を確認する。 □目的や活動方法に応じたグループミーティングを行う。 □貸出物品を返却する。	
想定される リスク	□転倒、木の枝などによる擦り傷など □他団体の活動への支障			
指導のバリエーション	□規定コースの各ポイントにオリジナルの問題を加える。 例：「How many table are there?」「What color is this?」 「How do you say in English?」			

## やり方の説明・安全指導

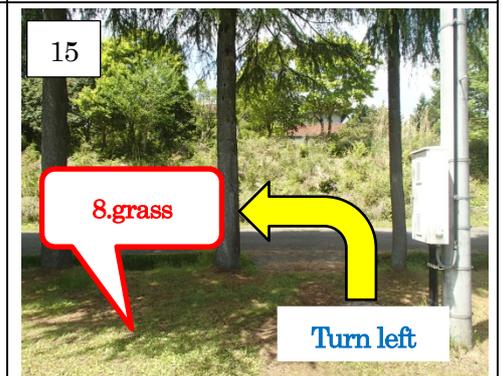
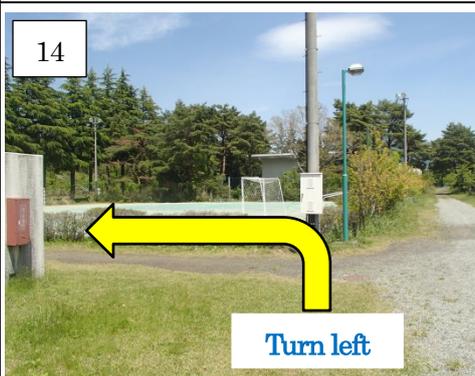
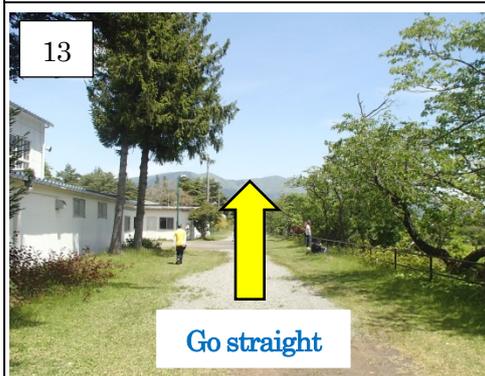
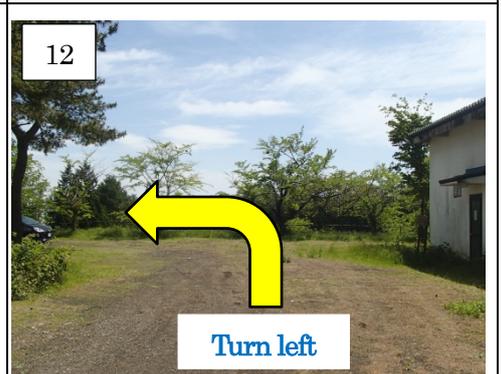
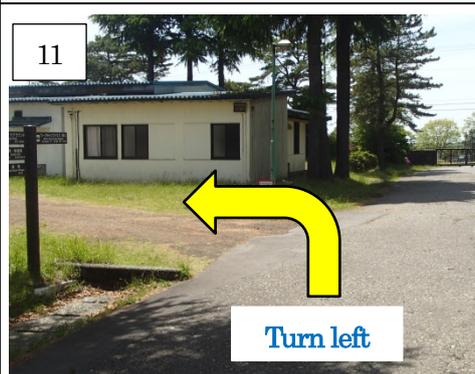
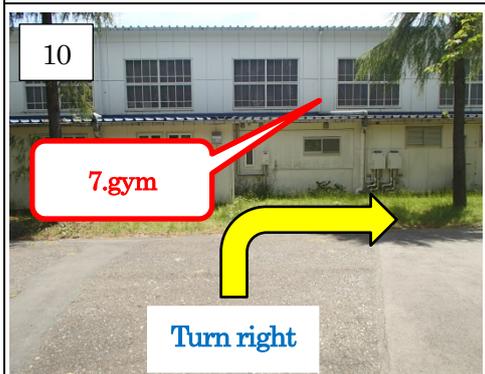
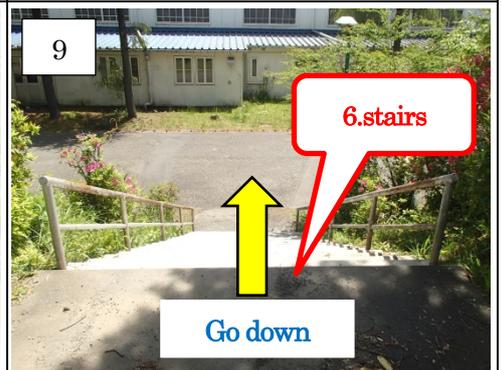
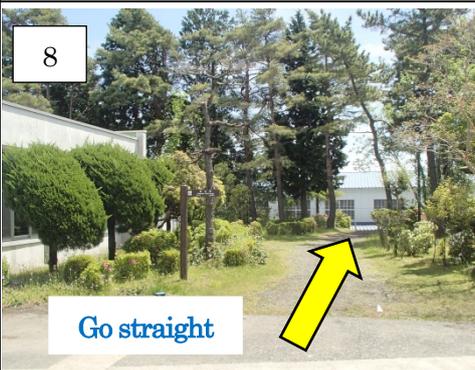
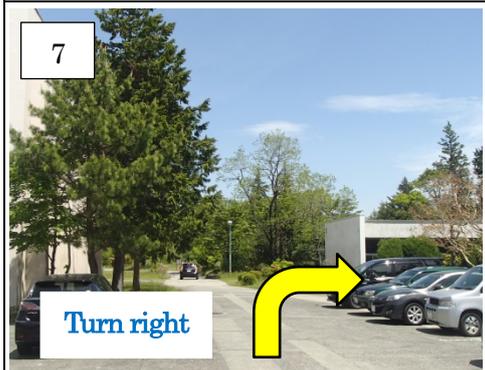
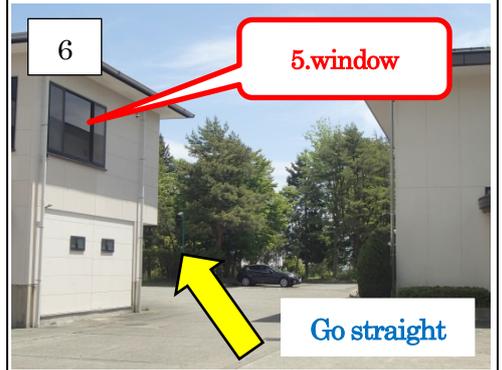
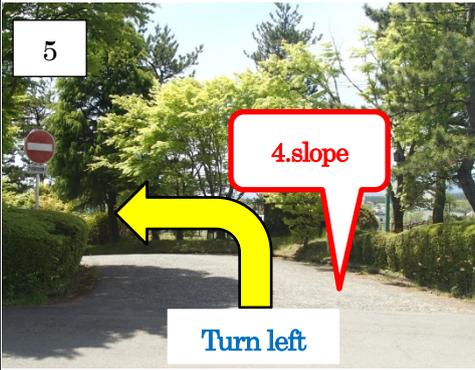
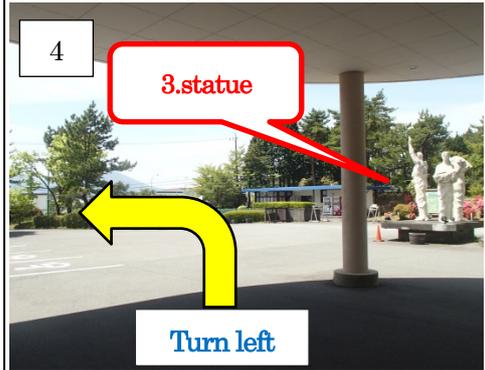
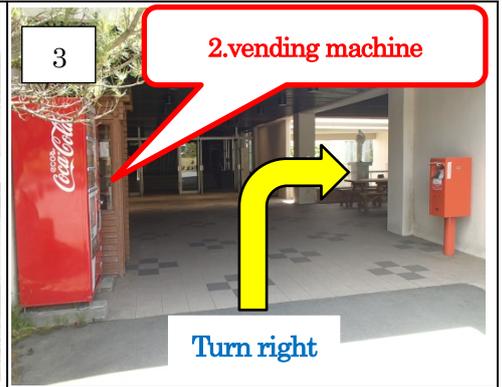
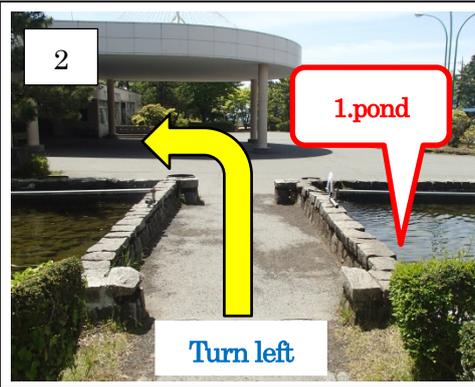
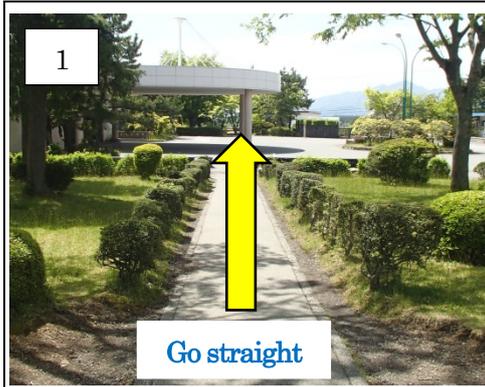
### 【やり方の説明】

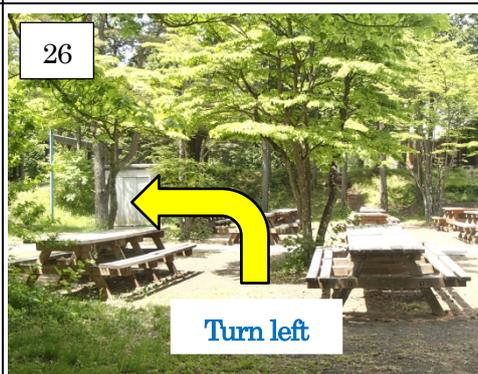
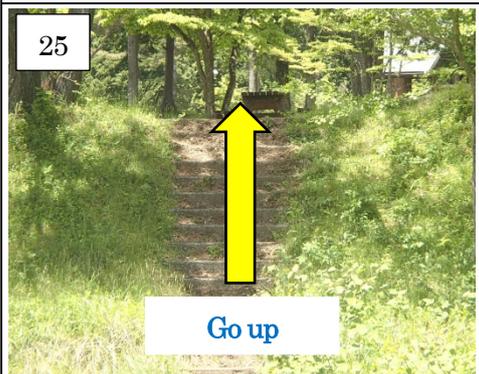
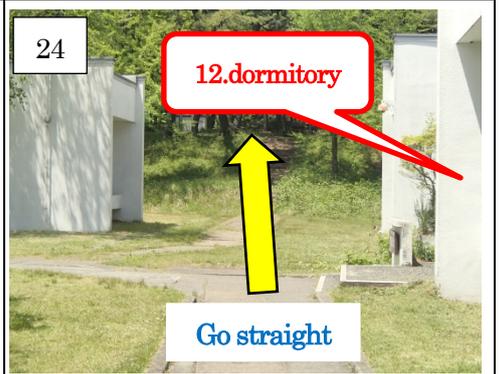
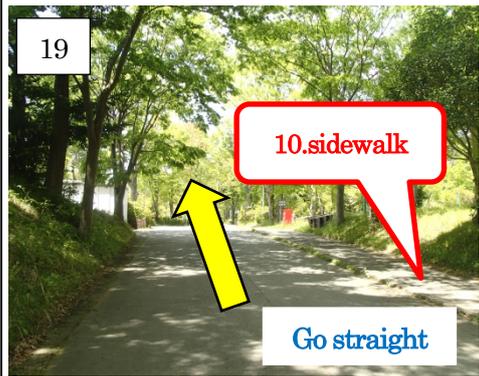
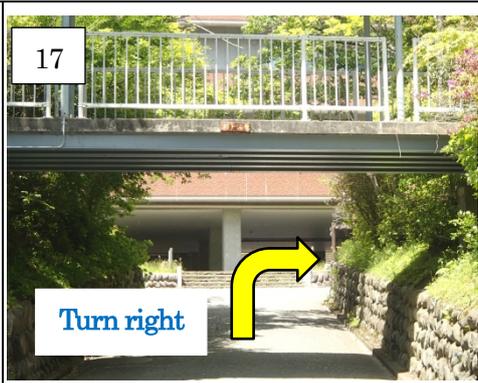
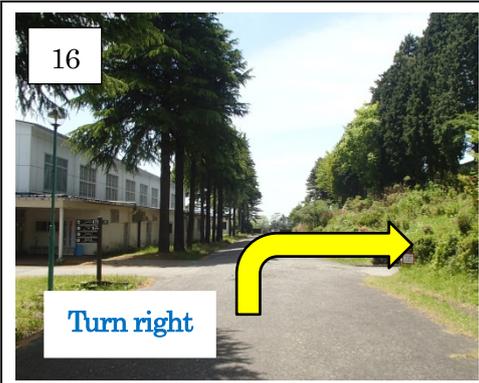
1. 「コマ図にある写真を見ながら指示者は、青色の英語でグループに指示をだします。」
  2. 「写真はすべて交流の家内の敷地になりますので、敷地外に出ることはありません。」
  3. 「全部で38コマあるので、グループで指示者を交代しながら行いましょう。」
  4. 「指示者は赤色の単語の場所や物を英語でグループに質問しましょう。」
  5. 「所要時間は、1時間から1.5時間ほどになります。」
  6. 「時間内にすべて回れない場合も、最終の集合時間（〇〇時〇〇分）には、出発場所（〇〇）に戻ってください。ゴールをしたら、〇〇で待っていてください。」
  7. 「所内を回るときは、必ずグループで行動をしてください。ゴールする時は、グループ全員が集合して戻ってください。」
  8. 「指示者は、いろいろな質問をグループに投げかけてみましょう。」
- 例：「What is this?」「How many are there?」  
 「How do you say in English?」「What color is this?」

### 【安全指導】

1. 持ち物と健康状態の確認をする。
  - ・「各グループ、コマ図を持っていますか。」
  - ・「体調の悪い人はいませんか。」
2. 施設内の状況に注意する。
  - ・「雨後や雨天時に行く場合、あるいは夕方や日没近くに行く場合は、特に足下に注意をして行動してください。」
  - ・「冬季は凍っている場所がありますので、転倒などに気をつけましょう。」
  - ・「足下ばかりでなく、頭上の立木の枝などにも気をつけてください。」
  - ・「所内でも作業による通行車両があります。事故にあわないようにしましょう。」
  - ・「夏場の草むらには、ヘビやスズメバチがいることがあります。急いだり、無理をして近道をしたりすると危険です。」
  - ・「もし、ヘビやハチに出会ったら、払ったり刺激しないで、ゆっくり離れましょう。」
3. グループのペースを守る。
  - ・「体力のある人や足の速い人がいますが、事故や怪我を防ぐためにも、グループ全員がペースを守って行動してください。」
  - ・「暑い日には、熱中症に気をつけ、水分の補給を忘れないようにしてください。」
4. 緊急な場合は指導者に連絡する。
  - ・「事故や怪我など、緊急の場合は、スタート場所（あるいは〇〇）が本部になりますので、すぐに報告に来てください。急な天候変化の場合も同じです。」
5. その他
  - ・「他団体も活動していますので、迷惑にならないようにしましょう。」
  - ・「団体で決めている研修中の規則とマナーを守りましょう。」
  - ・「落とし物、忘れ物がないように気をつけて活動しましょう。」

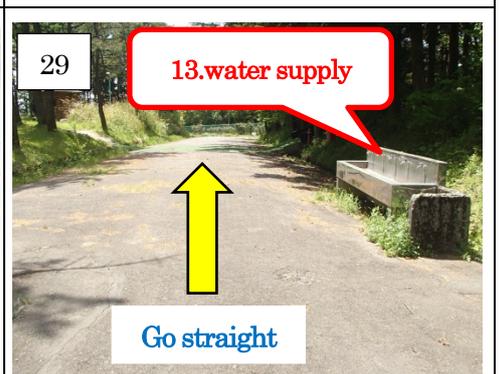
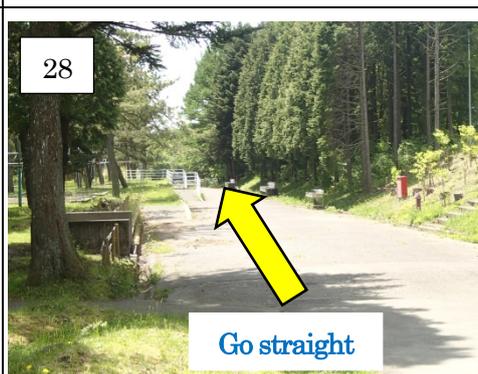
# English Walkrally





Question Time 1

Q. How many tables are there ?



# Walkrally Map

